

第5回 井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会

会 議 録

日 時	令和5年5月24日（水） 午後6時30分～午後7時40分
場 所	井泉公民館 講堂
委 員	鳥海委員長、藤間副委員長、高野副委員長、福島委員、蓮見委員、澤田委員、野中委員、平野委員、田口委員、宇都木委員、秋山委員、石川学校運営部会長
事 務 局	細村学校教育部長、米花教育総務課長、蓮見学校教育課長、佐藤生涯学習課長、小林教育総務課総務係長
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）各専門部会の進捗状況について （2）その他 4 閉会

会 議 録

1 開 会	司 会 (教育総務課係長)	第5回井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会を開会する。
2 あいさつ	藤間副委員長	<藤間副委員長あいさつ>
	司 会 (教育総務課係長)	年度が替わり交代された委員の方もいるので、改めて委員の皆様から自己紹介をいただきたい。  <委員自己紹介> <事務局自己紹介>
	司 会 (教育総務課係長)	議事については委員長が不在のため、藤間副委員長にお願いします。
3 議事 (1) 委員長及び	副委員長	議事に入る。本日の会議の目的は、新たな委員長及び副委員長の選出並びに専門部会の進捗状況の確認である。 議事（1）委員長及び副委員長の選出について事務局からの説明を求めた。

副委員長の選出について	事務局 (教育総務課長)	<p>この度、井泉小学校学校運営協議会の川俣委員長に代わり鳥海委員が、また、三田ヶ谷小学校長の関根副委員長の異動により、新たに高野校長が委員に任命された。これにより、委員長及び副委員長が欠けることとなる。</p> <p>羽生市立小・中学校再編成準備委員会設置要綱第5条第1項の規定により、委員長及び副委員長は委員の互選により定めることとなっている。</p> <p>ついては、委員長1名及び副委員長1名を決定していただきたい。</p>
	副委員長	<p>意見・質問を求めた。</p> <p>&lt;意見なし&gt;</p>
	副委員長	<p>特になければ、川俣委員長の後任として鳥海委員を委員長と、関根副委員長の後任として高野委員を副委員長とすることでよいか</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p>
	副委員長	<p>異議なしと認め、委員長を鳥海委員に、副委員長を高野委員に決定する。</p> <p>これをもって、議長の任を解かせていただく。</p>
	司 会 (教育総務課係長)	<p>今後の議事の進行については、鳥海委員長にお願いする。</p> <p>&lt;委員長あいさつ&gt;</p>
(2) 各専門部会の進捗状況について	委員長	<p>議事に入る。議事(2)各専門部会の進捗状況について、はじめに学校運営部会の石川部会長に説明を求めた。</p>
	石川部会長	<p>学校運営部会の進捗状況についてである。(資</p>

		<p>料1)</p> <p>第4回会議を4月5日水曜日、井泉公民館で開催した。決定事項としては校名の募集要項、公募を開始し、締切りは5月31日までである。校名が決まった後、校章については公募を実施する。</p> <p>委員長 資料確認の上、意見・質問を求めた。</p> <p>委員 校名募集は何件くらい来ているか</p> <p>事務局 (教育総務課長) 委員 ネットで80件、紙で50件程度である。</p> <p>委員 私としてはあまり関心がないと思っていたが、今の結果を聞くと結構来ているなどと思う。 4月1日の広報に載ったがほんとに小さかった。これを見たときに、教育委員会は再編成を大きく考えていないのかなと思った。それで5月の広報には載っていない、ホームページを見てもページをめくっていかないと公募しているのが分からない。そういう意味で教育委員会の考え方は統廃合をあまり大きく考えていないのかなという、うがった見方ができてしまう。そうではなくて、もっとPRをうまくやってもらいたい。井泉の方に聞くとあまり関心がないし、情報がないという。年配の方も若い方もあまり関心がないのもあるが、PRをもっと大々的にやって、市民に周知を図っていただきたい。</p> <p>事務局 (教育総務課長) 委員 PRが不足したところは申し訳ない。今後校章等の公募もあり、進捗状況等についてPRできるよう努力する。</p> <p>委員 資料には、学校運営部会で数点に絞り込み、再編成準備委員会でさらに数点に絞り込み、教育委員会で絞り込んだ校名について協議とある。具体的に、例えば、学校運営部会で10点、再編成準備</p>
--	--	---

		備委員会で5点と、段階的に少しずつ絞り込んでいくイメージか
	事務局 (教育総務課長)	そのとおりである。準備委員会で絞り込んだ案については、一番どれが良いと考えているかなど附帯意見として教育委員会には出す予定である。
	委員	学校運営部会では決めないのか。
	事務局 (教育総務課長)	学校運営部会は案の絞り込みとなる。 学校運営部会で一番ふさわしいと思う候補があれば、再編成準備委員会には報告する。
	委員	どこかの段階で校名の住民アンケートを取ることにはできないか。支障があるとしたら、今後それが軋轢になってくる。逆に、秘密裏に進めてしまおうと、というふうを考える。 今後、校章の住民アンケート、校歌の住民アンケートとしていくのが良いと考える。
	事務局 (教育総務課長)	事務局として、学校運営部会の協議結果を報告している段階である。この報告をもって、準備委員会でアンケートすべきというご意見があるならば、再度学校運営部会で判断することとなる。
	委員長	次回の学校運営部会での協議をお願いします。  次に、通学部会の平野部会長に説明を求めた。
	平野部会長	通学部会の進捗状況についてである。(資料1) 第4回会議を4月12日水曜日、三田ヶ谷公民館で開催した。部会としての決定事項は、次のとおりである。 スクールバスの利用基準は、井泉小の北袋地区在住の児童及び三田ヶ谷小、村君小の児童を対象とすることとした。人数は井泉小が21人、三田ヶ谷小が

		<p>59人、村君30人、合計110人である。</p> <p>停留所の位置は、スクールバスルート上で通学班の集合場所付近とする。</p> <p>停留所までの集合、停留所からの帰宅方法は、通学班で、徒歩で集合し、帰宅することとする。</p> <p>時刻表は、新校の時間割に合わせる。登校は8時前後、下校は15時前後及び16時前後に学校を出発する。</p> <p>バス利用児童のチェック方法は、運転手が目視でチェックする。</p> <p>継続協議としては、次のとおりである。</p> <p>バスルート及びバスの種類についてである。今の案は、北袋が単独で小型バス、三田ヶ谷ルート、村君ルートは大型バスとなっている。バスの乗車時間は30分までと考えており、徒歩15分、トータル45分で考えている。現在の案は、この時間を超えてくるため、各学校で保護者や自治会長を協力を得て考え、6月の会議にもってくることになっている。</p> <p>到着出発場所は、井泉小敷地内外で引き続き検討する。立哨当番・ボランティアのかかわりは、登下校の見守り等を保護者や地域の方に引き続きお願いしていく。乗り遅れ、遅刻・早退時の対応は、保護者対応としている。</p> <p>次回、まずはルート案を決めていきたい。</p> <p>資料確認の上、意見・質問を求めた。</p> <p>枯杉バス停の近くに井泉があるが、バスに乗ってもいいのか。</p> <p>バスの利用基準として、井泉小は北袋地区在住の児童となっている。三田ヶ谷ルート上の近くであっても乗車対象とはならない。</p> <p>それはおかしくないか。同じ小学校の子ども達になるわけで、隣同士だったらどうするのか。100</p>
	委員長	
	専門部会委員	
	事務局 (教育総務課長)	
	専門部会委員	

		円でも200円でもとって、バスを利用するかしないかは保護者に任せて、というやり方もあるという意見を前に言ったと思う。そういうことは部会で話し合っているのか。
	平野部会長	第4回の会議でバスの利用基準については決定したと記憶している。それで次に進んだ形となっている。バス停についてはあくまで案である。これから各学校で詰めていく。
	専門部会委員	藤井上組西部、北袋ルートの西側の子と北袋ルートのバス停の子が歩くとだいたい同じ距離である。その辺の区別は、藤井上組ルートを作らないのか。
	平野部会長	部会の時に、井泉地区についてもルート、バス停について検討しておいてくださいと伝えている。
	専門部会委員	藤井上組西部の方にもバスが入って行っているのか。マイクロなら入っていける。問題ないと思う。
	平野部会長	ルートはまだ決定ではない。以前は北袋地区も三田ヶ谷を回るルートであった。それも含めて再検討する。
	専門部会委員	地区の境目の子をどうするのか。保護者に説明するのは部会に残るPTAの皆さんになるので、しっかり説明できないと。今の説明だと、自分が親であれば納得しない。どうしてここは乗れるのか、乗れないのか、説明できないといけないと思う。
	平野部会長	委員長に確認したい。通学部会で決定し、再編成準備委員会で決定し、次の会議に臨んでいる。これから委員も変わることがあるが、その都度また決定し直す必要があるか。
	委員長	前回までにバスについてはいろいろな意見がある

	<p>専門部会委員</p> <p>委員</p> <p>平野部会長</p>	<p>中、井泉は北袋地区の子、三田ヶ谷、村君の子は全員乗せましょうという話で先に進んでいると理解している。利用基準として決定していると考えてもらいたい。</p> <p>決定しているのは分かるが、今の説明だと親は納得しない。自分の子はつらい思いして歩かされるのに、他の子はバスに乗せてもいいのかと。</p> <p>きちんと定義を決めて、こういうことで、こうなりました、この距離は歩ける距離なのでと、そういう部分を部会で話し合った方がいいと思う。ただ部会で決定しただけなんですでは、保護者は納得できない。</p> <p>説明を受けている範囲では、通学バスは2 kmを想定していた。井泉に関しては、北袋が2 kmを超える部分があるのと、一部は2 km未満だが、北袋自治会を考えると、自治会の中でバスに乗れる子、乗れない子が出てくるのはよくないので、北袋は2 km以内ではあるけれども、バスにしましょうとなったと認識している。三田ヶ谷、村君に関しては、2 km以内のところもあるが、三田ヶ谷、村君の子ども達は、バスに乗せようと決定したと認識している。</p> <p>確かに、井泉小学校で一つになるのに、同じ距離で乗れる、乗れないの意見は出てくると思う。井泉、三田ヶ谷、村君の分断になってしまう可能性はある。しかし、バスルートは運営していく中で、毎回検討し直さないとならないと思う。とりあえずこれでやってみて、また変えていかななくてはいけない。こうして決めていかないと、再編成が進んでいかない。</p> <p>三田ヶ谷、村君について、2 km圏内もあったが、通学班が組めない理由で全校児童をバスとさせていた。また、バス停は毎年変えるとしている。今、子ども達が歩いて15分までの間に、バスが停</p>
--	--------------------------------------	--

		まれるところがあればというところを探している。
	委員	三田ヶ谷ルートで田舎教師像から高速側道に入っていく道は、大型侵入禁止だったと思うが。
	委員	特に表示はでていない。
	平野部会長	ルートについては、ゼロベールで検討する。
	専門部会委員	バスの運転手から見ると、なんでこんなところを通るのかと思う。農協を抜けた方が早い。
	平野部会長	それも含めて、再検討する。
	委員長	それぞれの学校での要望と、バス会社で運行が可能かどうか出てくる。具体的になったら、検討してもらいたい。 事務局でバスに関し何かあるか。
	事務局 (教育総務課長)	事務局でルート案は実走したが、他市で運行実績のある業者をお願いし、ルート案の確認をお願いしているところである。 その業者の場合、マイクロだと28人乗り、大型だと53人～56人になるとのことである。
	専門部会委員	発着所は井泉小である。別にターミナルを作るのか。
	事務局 (教育総務課長)	通学部会の協議事項だが、現在は、井泉小内外での検討にとどまっている。農協跡地も検討しているが、これから具体的に選定し、行政として進めていく話になる。
	専門部会委員	できれば、学校内はやめてほしい。大型ではぶつけてしまう。大型は無理なので、別のところを考えて。



	<p>事務局 (教育総務課長) 委員</p>	<p>それも含めて検討したい。</p> <p>井泉農協の跡地がいいと思うが。</p>
	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>井泉農協は活用予定があるとの回答であった。 店舗を取り壊すことはない。</p>
	<p>委員長</p>	<p>次に、P T A部会の進捗状況について、澤田部会長に説明を求めた。</p>
	<p>澤田部会長</p>	<p>P T A部会の進捗状況についてである。(資料1) 第4回会議を4月19日水曜日、村君公民館で開催した。部会としての決定事項は次のとおりである。</p> <p>体操服(ジャージ)については、新校開校時は指定のジャージは作成せず、既存のジャージや市販のものでもよいこととした。新校の指定ジャージは、新校の新たな体制で考えていく。半袖・短パンは、井泉小と三田ヶ谷小が同じものを使用しているため、これに統一していく。帽子は、現在の井泉小のとおり学年ごとに違う色とすることとした。</p> <p>P T Aについては、井泉小をベースに組織図を作成することとした</p>
	<p>委員長</p>	<p>資料確認の上、意見・質問を求めた。</p> <p>&lt;特になし&gt;</p>
	<p>委員長</p>	<p>次に、教育課程部会及び事務部会の進捗状況について、事務局に説明を求めた。</p>
	<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>教育課程部会の進捗状況についてである。</p> <p>第2回の教育課程部会を4月7日金曜日に開催した。部会としての決定事項は次のとおりである。</p> <p>1年間で各学年3回ずつの交流事業を実施する。</p>

		<p>本来であれば各学年、学期ごとに1回ずつ開催する予定であったが、1年生は1学期中の日程調整が難しいため、各学年3回ずつの交流としている。一番近いもので、3年生の蛍の里見学を6月に計画している。</p> <p>その他の行事も、井泉小、三田ヶ谷小、村君小いずれかの学校に、他2校の児童がバス等で移動し、交流事業を実施する。</p> <p>まずは、3校の児童が再編成後も円滑な人間関係が構築できるよう交流事業を実施していきたい。</p> <p>次に、事務部会である。第1回目の会議を6月中に開催する予定である。</p>
	委員長	意見・質問を求めた。
	委員	前回の委員会で、先生方は今の授業で忙しいので、交流事業をやるのに当たって、交流事業に専門のコーディネーターが必要ではないかという意見があったと認識している。
	事務局 (学校教育課長)	本来であれば専門のコーディネーターで進めるのが望ましいが、人的・財政的に難しい部分がある。学校側でも今やっていること以上に何か企画立案することは難しいと理解している。企画立案については教育委員会事務局で進め、学校と打ち合わせながらやっていく。
	委員	事務部会のメンバーは。
	事務局 (学校教育課長)	案として、第1回会議は、井泉小、三田ヶ谷小、村君小の事務職員で行う。その中で出てきた意見・要望に合わせて、他の事務職員にもお願いすることはある。
	委員	検討いただきたいのは、事務は教員と雇用形態が違うので、できれば勤務時間内に会議を開催するの

(3) その他	委員長	<p>がよいと思う。</p> <p>事務の方がいろいろやることが出てくる。事務だけに任せられても大変だと思うので、教育委員会でも配慮してほしい。</p>
	委員	<p>次に、(3) その他について、意見・質問を求めた。</p> <p>小学校の再編成に当たり、跡地利用について市の検討の状況を報告する。</p> <p>市では、羽生市立三田ヶ谷小学校及び村君小学校跡地利用庁内検討委員会を昨年立ち上げ、打合せをしている。5月12日に第2回会議を開催した。</p> <p>第1回会議の際、意見を持ち寄ることとしたが、地域振興課からは防災としての位置付けは残してほしい、企画課・財政課では文部科学省が行っている「みんなの廃校プロジェクト」について意見が出された。三田ヶ谷小、村君小はいずれも市街化調整区域であり、市が行う事業であっても厳しい制限があり、法的な整理が必要となる。また、民間をいかに活用していくか、例えば公募したり、調査を委託したりする事例もある。行田市は先行しており、跡地利用も進めているので、ヒアリングに行く予定である。</p>
	委員長	<p>跡地利用について意見・質問を求めた。</p>
	委員	<p>進捗状況は分かったが、自治会としては、この先どうしていく、いつまでに何を決めていくというロードマップを示してもらいたい。</p>
	委員	<p>再編成は令和7年4月と決まっているので、それまでに何をしておくべきか、その後実際にどのタイミングでやっていくのか決定すれば報告していきたいが、まだそこまでは至っていない。</p>

4 閉会	委員	再編成が始まるころまでには示してもらいたい。
	委員	4月に部会を含め、委員が変わっている。新たな名簿をいただきたい。
	事務局 (教育総務課長)	郵送で名簿をお送りする。
	委員	前任から資料をもらったが、開催日について事務局から通知がなかった。今後もないのか。
	事務局 (教育総務課長)	会議後、次回の会議日程をお伝えし、改めて通知はお送りしていない。
	委員	3月末にどの委員が変わるか把握して、4月から変わった委員に通知できればいいのでは。
	事務局 (教育総務課長)	了解した。
	委員長	本日の議事はすべて終了した。
事務局 (教育総務課長)	次回会議は、7月26日水曜日、午後6時30分から、井泉公民館で開催する。	
		<高野副委員長あいさつ>
		第5回 井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会を閉会とした。
<b>【配布資料】</b> 資料1 井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会各専門部会の進捗状況 各専門部会の配布資料一式		

0